

## JACRへの期待 ～院内がん登録実務に関わる中での思い～



**山下 夏美** 専門委員

四国がんセンター 臨床研究センター

現在、愛媛県がん診療連携協議会がん登録専門部会では、15の施設、50名弱の実務者の方が活動しております。実務者に求められることは増加し、限られた人数やスケジュールでの登録実務に加え、認定資格の取得・維持、人材育成や研修会等の企画運営、がん登録データの利活用、各種調査依頼への対応など、多忙になる一方です。必要な能力も多様になってきているように感じます。愛媛のような地方では、少子高齢化等の影響による生産年齢人口の減少等からも今後の人材確保は容易でなくなることが予想されます。精度の高いがん登録を継続していくには、施設や県を超えた協力体制が必要になるのではないかと感じております。

院内がん登録実務者の育成は、都道府県単位で行っているところも多いのではと思いますが、他県の皆さんは、どのように実務者育成、研修会等を企画運営されているのでしょうか？

愛媛県では、実務者の育成のための研修として、年に1・2回、がん診療連携拠点病院の持ち回りで講義や演習中心の研修会、それに加えて、「がん登録実務者のための5大がん登録講座」を年に1回開催しています。ちょうど先月(10月)この講座を開催し、県外からの参加者20名程を含む70名の方に参加していただきました。今年で5回目という事もあり、研修会の企画運営のノウハウは蓄積されてきたとはいえ、こういった会を継続していくことは人・予算・時間に課題があり、効果的な研修会にするためには企画側にも実務だけではなく教育そのものに関する知識が必要です。今回、この講座を企画するにあたり教育設計の専門家から人材育成・教育のプロセス/成長過程を系統的に整理し可視化すること、集合研修だけでなくe-learning等も含めた自学できる環境整備の重要性などについてアドバイスをいただきました。

愛媛県のがん登録専門部会では2011年診断症例より県内のがん診療連携拠点病院・推進病院15施設の院内がん

登録のデータを集計した「がん登録でみる愛媛県のがん診療」を刊行しています。各施設の実務者が自施設のデータを自ら解析し院内外に情報発信したいという思いから始めた活動です。2018年11月現在、7冊目の冊子となる2017年診断症例の集計に取り掛かっています。



「がん登録実務者のための5大がん登録講座」のようす

近年、データの利活用のニーズは強まり、各施設の院内がん登録実務者もそれ応じたい気持ちはあるものの、十分な時間や知識を得る機会が得られない方も多いのではないのでしょうか。施設として県として、どうデータを活用していけば良いのか、悩むことも多いので、施設や県を超えて技術や情報共有できる場が増えて欲しいと願います。

データの集計作業や登録実務の研修において都道府県が個別に活動していたのでは労力と成果が釣り合わないのではないかと感じています。それらのノウハウを持ち寄り、全国にネットワークとして広げる場の必要を感じています。JACRがその場として機能し、院内がん登録実務者がその中で活躍できることを期待します。



### 刊行物の販売について

JACRでは、『がん登録の手引き改訂第6版』を1冊税込1000円にて販売しております。ご購入をご希望の方は、右記QRより注文票をダウンロード頂きFAXまたはメール添付にてJACR事務局までお送りください。 ※送料のご負担をお願いしております。

3冊まで ▶ レターパックライトにて発送。 3冊～5冊まで ▶ レターパックプラスにて発送。

